

【第3号議案】

第54年度事業計画(案)

【基本方針】

平成29年度我が国経済は雇用・所得環境の改善が続くなか、個人消費が改善し、緩やかな回復基調が継続したが、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動、グローバル化の進展や先進国における所得格差拡大が不安要素となっている。

日本経済においては、失業率低下、就業者数増加、名目賃金増加などから、デフレ脱却と言われているが、地方においては回復の足並みは一部に留まっている。また、平昌オリンピック・パラリンピックの成功で明るい兆しがうかがえたが、森友学園の問題で政治の混迷が見られた。

一方、印刷産業を取り巻く環境は、印刷総需要が停滞する中、原材料の値上げや労働市場の人手不足による物流経費の値上げなどで厳しい経営を余儀なくされている。また、AIやIoT技術の登場により、新たな付加価値や製品・サービスが生まれている。印刷業の取り組みも顧客のオーダーに合わせて印刷物を提供するだけでなく、顧客のニーズに合わせたサービスの提供が求められる。

このような社会情勢に鑑み、ジャグラは平成30年度「強いジャグラ」の実現を掲げ、ジャグラ会員とジャグラとの関係を今一度見直し、今後も継続性のある組織へと強化していきたい。ジャグラ会員数は現在878社（前年比マイナス2社）。全国各支部そして地協の運営も非常に厳しくなっており、ジャグラ本部に寄せられる期待はより大きなものとなっている。ジャグラは財政基盤を確立して本部役員、事務局が一体となって全国会員各社に役立つ事業を推進していく。

そこで、「強いジャグラ」を推進するため、組織再編を行う。総務・財政事業、教育・技術事業、CSR事業、経営基盤強化事業、ビジネス推進事業、個人情報保護事業という6つの柱を核として事業を推進していく。

経営基盤強化事業は、経営革新事業から新たに名称を変更したもので、旧来の事業のほか、IoT化推進部会を発足させる。IoT化推進部会では、現在国が推進するIoTに関する調査研究や情報提供を行う。ビジネス推進事業はマーケティング事業から新たに名称を変更し、ビジネス推進という視点で我々印刷業にとってメリットのある事業を実現する。組織拡大は必要な事業であり、組織拡大・活性化部会を中心として、引き続き地協、支部と連携を図りながら組織拡大に努める。また、次世代を担うSPACE-21やこれまでジャグラを支えてきたメンバーによるマスターズクラブの活動支援を行う。

社会や環境変化は加速度的にスピードを増し、これまで体験したことがないレベルで

大きな変化が起きる時代。ジャグラ会員企業は多様な情報を得て、社会の変化、顧客の変化に耳を傾け、新しいことにチャレンジして欲しい。その姿勢が強いジャグラに繋がる。

ジャグラはこれまで進めてきた諸活動で、成果を上げてきたが、さらに新しい事業を推進することで会員満足を高めていきたい。

以下、個別の事業計画は次の通り。

〔個別事業〕

〔1〕 総務・財政委員会

1. 総務・財政委員会

総務・財政委員会は次の事業を行う。

- ① 総務全般
- ② 賛助会員との交流
- ③ 財政
- ④ 会館運営
- ⑤ 公益法人改革への対応
- ⑥ その他

2. 組織拡大・活性化部会

組織拡大・活性化部会は次の事業を行う。

- ① 組織拡大
- ② 地協等の活性化
- ③ マスターズクラブ・SPACE-21との連携
- ④ その他

2.1 マスターズクラブ

- ① ジャグラ役員経験者等を中心として構成する
- ② ジャグラの活動に協力する
- ③ その他

2.2 SPACE-21

〔総論〕

【先人の訓を学び、これからのあるべき姿を見いだす】

【全国各地域青年部の活性化に力を入れる】

平成32年にSPACE-21が30周年を迎えるにあたって、我々が先人から受け継ぎ次世代へ受け継いでいくもの、かたちを変えながら進化させていかななくてはならないものをもう一度原点に立ち返り考え、今後のSPACE-21が行う事業に活かし、より活動しやすいSPACE-21になるよう努めていきたいと思えます。

現在の具体的な取り組みや活動としては、全国キャラバンでのセミナーや勉強会・全国協議会・総会・PrintNextなどありますが、会議のあり方や進行方法の改革に力を注ぎ、各地域や支部青年部でまとめた要望を組み込んでいける仕組み作りに努め、育成の支援・交流の促進を図りたいと考えています。

3. ジャグラ作品展部会

ジャグラ作品展部会は次の事業を行う。

- ① ジャグラ作品展の内容の検討
- ② ジャグラ作品展の審査等の運営
- ③ その他

4. 広報部会

広報部会は次の事業を行う。

- ① 各事業部との情報共有
- ② 機関誌の企画・編集・発行
- ③ ジャグラホームページの運営
- ④ その他

〔2〕教育・技術委員会

1. 教育・技術委員会

教育・技術委員会は教育と技術情報の提供を主な柱として事業を行う。

- ① 教育（デジタル教育を含む）、技術情報の提供（ジャグラBB等を含む）
- ② プロフェッショナルDTP&Web教室の運営
- ③ その他

2. ジャグラBB企画部会

ジャグラBB企画部会は次の事業を行う

- ① 各事業部と情報共有を図る
- ② ジャグラBBの企画・運営を行う
- ③ その他

3. ジャグラコンテスト部会

ジャグラコンテスト部会は次の事業を行う。

- ① ジャグラコンテスト運営全般
- ② ジャグラコンテスト運営のための専門委員会議
- ③ その他

〔3〕経営基盤強化委員会

1. 経営基盤強化委員会

経営基盤強化委員会は、次の事業を行う。

- ① 経営対策事業
- ② 業界環境への対応
- ③ 会員企業への経営情報提供
- ④ 年賀状デザインコンテストの運営
- ⑤ その他

2. 年賀状デザインコンテスト部会

年賀状デザインコンテスト部会は次の事業を行う。

- ① 年賀状デザインコンテストの運営全般
- ② その他

3. M&A部会

M&A部会は次の事業を行う。

- ① M&Aの検討
- ② M&Aの情報提供
- ③ その他

〔4〕CSR委員会

1. CSR委員会

CSR委員会は、東京グラのCSR・BCP特別対策グループと共同開催で、CSR、BCPおよびBCMの普及と啓蒙を行う。

具体的にはBCPセミナーや見学会を実施し、会員企業のBCP策定を推進する。

2. 環境部会

環境部会は、一般社団法人日本印刷産業連合会が主催するグリーンプリンティング認定制度の普及および環境優良工場表彰の参加などを通して、会員企業の環境対策支援を行う。

- ① 環境対策（VOCの排出抑制・CO2の削減）

- ② GP制度の普及（「印刷と私」エッセイ・作文コンテスト作品募集）
- ③ 環境優良工場表彰への対応
- ④ SDGsの環境項目の研究
- ⑤ その他

3. BCP部会

BCP部会は次の事業を行う。

- ① CSR、BCSおよびBCMの普及と啓蒙
- ② BCP策定の推進
- ③ BCPセミナーおよび見学会の開催
- ④ その他

〔5〕ビジネス推進委員会

1. ビジネス推進委員会

ビジネス推進委員会は、ジャグラ会員のためのビジネスの検討と、ジャグラのためのビジネスの検討を実施する。

2. IoT化推進部会

IoT化推進部会は、経済産業省の補助金等を活用し、最新技術を取り入れたシステムを構築することを目指す。

3. POD研究部会

POD研究部会は、オンデマンド印刷事業のビジネスモデルを研究し、情報提供を図る。

〔6〕個人情報保護委員会

1. 個人情報保護委員会

個人情報保護委員会は、印刷・グラフィックサービス工業の個人情報保護の推進とプライバシーマークの普及を図る。

2. 個人情報保護ガイドブック作成部会

個人情報保護ガイドブック作成部会は、印刷・グラフィックサービス工業の個人情報保護の推進とプライバシーマークの普及を図るため、印刷・グラフィックサービス工業のガイドラインを策定し、その普及のためのガイドブックを作成する。

〔7〕その他

1. 三役会

ジャグラの運営や事業推進のほか、対外関係等の常務の処理のため、必要がある場合に、会長・副会長・専務理事にて開催する。

ただし、必要に応じて構成員を増やしたり、臨席を求めることができる。

2. 危機管理委員会

災害等、非常時に機能する。

会長・副会長・専務理事にて構成するが、必要に応じて臨席を求めることができる。

3. 日本自費出版文化賞の主催

日本自費出版文化賞大賞を主催する。

日本自費出版文化賞大賞の運営は、日本自費出版ネットワークに委託する。

4. プライバシーマーク制度における審査機関としての活動

プライバシーマークの普及のため、プライバシーマークの審査機関として活動する。